



神亀山

か：かしこい子
め：めあてをもってがんばる子
や：やさしい子
ま：まごころを貫き通す子

令和3年9月7日 薩摩川内市立亀山小学校

運動会練習始まる ～今年度も学校単独開催～

校長 中村 義浩

今年度の運動会も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校単独での午前開催とすることにいたしました。このような形とすることで、練習時間の削減、昼食を準備する保護者の負担軽減、強い日差しの中での運動時間の短縮など、よい面もたくさんあります。一方で、一昨年度までのように地域との合同開催には次のようなよさも感じていたところです。

- ・地域の方々に多数ご来校いただき、亀山小の子供たちのがんばる姿を直接見ていただける。
- ・子供たちが地域対抗競技などに参加することで、地域の一員としての意識が育まれる。
- ・教職員と校区体協の方が協力してプログラムを運営していくことで、学校と地域とのつながりが築かれる。



学校の行事には運動会のほかにも、遠足、修学旅行、持久走大会、家庭訪問など、たくさんの定番の活動があります。しかし、学校の教育内容や社会・家庭の生活様式が大きく変化し、教職員の働き方改革も言われる中、時代の流れに即して、行事の目的や内容を常に見直していく必要があると考えています。そんな時に浮かぶのが、松尾芭蕉が俳諧の理念として唱えた「不易と流行」という言葉です。亀山小学校で、「不易」として守っていくべき伝統は何か、「流行」として時代に合わせ変えていくものは何かを考え、二つのバランスを取りながら教育活動を展開していくことが大切なことだと思っています。

さて、今週から、早速、全校での運動会全体練習が始まります。新型コロナウイルスも心配ですが、残暑厳しい中での練習となりますので、熱中症対策も考えた練習をしてまいります。具体的には、水分補給の時間を15～30分ごとにとり、全体への指導は木陰やテントの下で行う、学年練習では「熱中症対策係」の教職員

を一人決めて行う、ミスト付扇風機を活用する、などです。運動会の一番のねらいである「児童が自分のめあてをもって進んで運動会に参加する」が達成できるように、主体的に練習に臨ませたいと思っています。



新型コロナウイルス感染拡大防止

子供たち及びご家族の命と健康を守るために、再度、次の点について、確認とお願いをいたします。

- ・学校のみならず、家庭・課外活動等においても、3密を徹底的に避けた行動をする。
- ・毎朝の家庭での体温測定と健康観察を確実に行う。特に次の4点に留意した健康観察を行う。
〔(お子さんの)・機嫌・顔色・食欲・呼吸〕
- ・登下校時は、一人で歩く際はマスクをはずし、友達と歩く際は着用する(気温や体調によってはマスクをはずす)。
- ・放課後や週休日の不要不急の外出はできるだけ控える。
- ・同居する家族や本人がPCR検査を受けたり、濃厚接触者に認定されたりしたら、必ず学校に連絡する。

タイヤ塗装・うさぎ小屋工事 7月24日

PTA施設事業部の皆さんに、運動場に設置されたタイヤ跳びのタイヤに5色のペンキを塗っていただきました。色鮮やかなタイヤは、子供たちの遊び心を刺激すると思います。



長年の懸案だったうさぎ小屋の移設・新築工事も始まりました。PTA評議員の方々のご理解とおやじの会の皆さんのご協力によるものです。従来のうさぎ小屋には、次のような問題点がありました。

- ・通級指導教室来校者の車が入る北門横にあったため、子供たちは自由にうさぎを見に行くことができなかった。
 - ・大雨のときは小屋が浸水し、飼育委員会の子供たちは傘を差しながら小屋に行き、服を濡らしながら活動していた。
 - ・オスとメスの仕切りが不完全で子供が多数産まれている。
- 今後、1年教室北側に新設されることで、完成すると子供たちも自由にうさぎの姿をのぞくことができます。飼育委員会の子供たちの活動も随分しやすくなることと思います。

6年学年レクリエーション 8月2日

出校日の午後から夜にかけて、6年生が学校で学年レクリエーションを行いました。子供70人、保護者30人に教職員も加わり、プール遊び、すいかわり、夕食(カレー)、クイズラリー、花火などを楽しみました。今回の学年レクは、学級委員長さんを中心に、保護者の方が企画・買い出し・準備・運営をしていただきました。子供たちにとって、コロナ禍のため、遠出したり、イベントに参加したりができない状況の中、夏休みの心に残る思い出となりました。



南日本新聞「若い目賞」受賞

南日本新聞の読書投稿欄「若い目」(短作文掲載)に、継続的に子供たちの作品を投稿してきたことが評価され、南日本新聞社から7月の「若い目賞」をいただくことになり、8/9付新聞にも受賞記事が載りました。今後も全学年で「子供のうた」(詩)と合わせて、作品を投稿していきます。

今年度、南日本新聞に掲載された6つの詩を紹介します。

いちねんせい 一年 ながわにこ
さくらががせにのって
ふわふわとんできた
わたしはいちねんせいになった
がっこうはおおきかった
このおおきながっこうで
わたしはおおきくなるんだ
らんどせるとはもうおともだち
これからたのしみだな
(五月一日掲載)

図書しつへ行こう
二年 まつ田 きょうか
どの本にしようかな
学校の図書しつには
本がたくさんあるからまよいます
きょうは二年生になって
はじめて本をかりる日でした
本を読むと
「たのしい」「おもしろい」
気持ちがいいです
ことしは二百さつを目ざして
手づくりシールももらっちゃおう
(五月七日掲載)

心 六年 上園 聖成
まつすくなとき
定規のよう
曲がっているとき
こんにやくのよう
悩みがあるとき
くねくねして
迷路のよう
心はそのときの気持ちで
形を変える
(五月二十七日掲載)

わたしのおあわせ
一年 こおりやま ちあき
もしもここが
むしのせかいだったら
わたしは
ちようちよがいいです
そらをとべたら
うれいす
じめんもあるけると
なんでもできます
しあわせ
(六月二十四日掲載)

ふたご 一年 まつもと こゆめ
わたしは、ふたごのいもうと
いちねんせいになったよ
なかよしのおねえちゃんがいるよ
あかちゃんのころからいっしょ
めがあうだけでわらっちゃう
たまにけんかもあるけれど
ごめんねをしてなかなかおわり
あしたもたくさんわらおうね
(八月二十九日掲載)

もし 三年 よしむら こい
もし花になるなら
すみれの花がいい
ちいさくてかわいいうから
もし雨のしずくになるなら
海にのりたい
世界中に行けるなら
もし野菜になるなら
トマトがいい
大好きだから
(八月五日掲載)

10月行事予定

3日(日)	第74回運動会
4日(月)	振替休日
8日(金)	地震津波避難訓練
13日(水)	修学旅行(～14日。6年) ※目的地は検討中
14日(木)	秋の一日遠足(1～4年) ※5年生は11月下旬に集団宿泊学習を実施

新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては、変更または中止もあることをご理解ください。特に、修学旅行・一日遠足につきましては、目的地の感染状況によっては、延期(修学旅行)または中止(一日遠足)もあります。



